

18名の創立者

Vol. 4

本学グローバル館4階の歴史展示コーナー壁面には、創立者18名の紹介とその事績に関わる展示があります。また、「炎の塔」2階の大学史資料館にも創立者の展示があります。本学創立者は、1880年前後にイギリス法を学んだ青年法律家でした。彼らは個々に優れた才覚と、特筆すべき個性を持った人々です。

さて、18名の創立者は大きく3つのグループに分けられます。

第1に、「海外留学組」の5名です。ここには、英吉利法律学校初代校長の増島六一郎が含まれます。増島は英国ミドルテンプルで学修の後、バリスター・アト・ローの称号を得て法廷弁護士となりました。菊池武夫はボストン大学ロースクール初の日本人法学士となり、穂積陳重と岡村輝彦はロンドン大学キングスカレッジとミドルテンプルに学び、特に穂積はその後ドイツベルリン大学で学びを重めました。イギリス法教育の伝道者たる土方寧も英国ミドルテンプルで学びました。

第2に、政府諸機関で活躍した7名が「官僚」グループです。ここには、伊藤博文と帝国憲法の前文中の過誤1文字を巡り論争をした高橋健三、外務省から内務省、文部省と転じた西川鉄次郎、司法省、外務省でキャリアを重ねた藤田隆三郎、元老院で主に調査課に勤務した合川正道、農商務省に任官した渡辺安積、政治家の秘書官や参事官として重用された江木衷、創立者の中では最後の学長であり、東京市長ともなった奥田義人が含まれます。

そして第3に、法律の知識を生かした6名の「弁護士（代言人）」グループです。ここには、早世した法学士代言人たる高橋一勝、代言人から後に政界入りした元田肇、日本における法律顧問の先がけと言われる岡山兼吉、大審院判事になった山田喜之助、司法一筋の道を歩んだ磯部醇、自らの代言事務所を開業した渋谷慥爾が含まれます。

以上に紹介した18名の青年法律家が、法学教育普及の志の下、英吉利法律学校の設立に尽力しました。多士済々な知の集合体が、今日の中央大学の礎を築いたと言えます。本学創立は1885年。今年、140周年を迎えました。

[資料館事務局]



まさしま 増島 六一郎



ひしかた やすし 土方 寧



おかむら てるひこ 岡村 輝彦



ほつみ のぶしげ 穂積 陳重



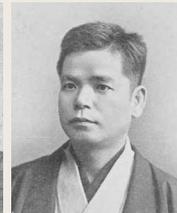
きくち たけお 菊池 武夫



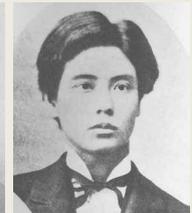
あいかわ まさみち 合川 正道



おくだ よしと 奥田 義人



えぎ まこと 江木 衷



わたなべ あさか 渡辺 安積



ふじた たかさぶろう 藤田 隆三郎



にしかわ てつじろう 西川 鉄次郎



たかはし けんぞう 高橋 健三



もとだ はじめ 元田 肇



やまだ きよすけ 山田 喜之助



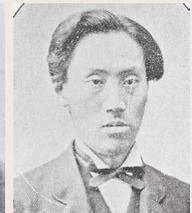
おかやま けんきち 岡山 兼吉



しぶや そうじ 渋谷 慥爾



いそべ じゅん 磯部 醇



たかはし かずまさ 高橋 一勝